

科目名称：	国内旅行研修	
担当者名：	若月 博延	
区分	授業形態	単位数
専門教育科目	演習	1
授業の目的・テーマ		
ホテル、旅行業、テーマパーク、地域社会、を総合的に学びます。 日本の最高峰のホテルサービスと施設、受注型手配旅行の手配、世界に誇る日本最高のテーマパークのサービスを体験します。		
授業の達成目標・到達目標		
ホテルサービスや旅行商品作成、テーマパークのマネジメントなど、2年からの専門科目への理解を深めるための実践を行います。		

ビジネス実務学科		ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	重点項目
DP(1)	自己理解を深め目標に向かって主体的に行動するとともに、多様性を尊重し、様々な価値観を持つ他者との良好な信頼関係を築いていくことができる。		
DP(2)	地域社会を理解し、様々な課題に取り組み幅広い教養を身につけるとともに、変化するビジネス社会に対応するための協働的な実践力を身につけている。		
DP(3)	ビジネス実務の分野において、基礎知識を身につけるとともに、専門的な知識や技能を修得し、各種資格取得を目指して専門性を磨き、これらを柔軟に活用していくことができる。		○

評価方法／ディプロマポリシー	定期試験	クイズ 小テスト	提出課題 (レポート含む)	その他	合計
ビジネスDP(1)					0
ビジネスDP(2)					0
ビジネスDP(3)	0	0	0	100	100
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の実務経験の内容（内容・経験年数を記載）	
なし	《内容１》	《経験年数１》
	《内容２》	《経験年数２》
	《内容３》	《経験年数３》
	《内容４》	《経験年数４》
備考		

評価ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力
事前学習	ホテル事前研修、旅行業事前研修について、いずれも深く理解できている	ホテル事前研修、旅行業事前研修について、いずれもある程度は理解できている	ホテル事前研修、旅行業事前研修について、いずれか1つは理解できている	全く理解できていない
研修自体	自ら積極的に研修を行い、必要なところは質問をし、理解を深めた	自ら積極的に研修を行うよう心掛けた	ある程度の気持ちで研修を行うことができた	研修自体は消極的であった
事後面談	研修中得たことについて整理し体系的に語ることができた	研修中得たことについて十分に語ることができた	研修中得たことについてある程度語ることができた	研修中得たことについて十分に整理することができなかった
プレゼン	自らリードして作成した	作成を積極的にサポートした	作成に多少関わった	関わらなかった

授業の内容・計画	事前事後学修の内容	事前事後学修時間（分）
第1回 事前研修1：説明会(研修の意義、研修内容の説明、部屋割り、グループ分けなど)	シラバスを精読しておく	20分
第2回 事前研修2：観光地概論	観光地について予習する	20分
第3回 事前研修3：テーマパーク概論	テーマパークについて予習する	20分
第4回 事前研修4：グループ別に研修内容のグループワーク	旅行先について予習する	20分
第5回 研修1日目：ホテル研修1	宿泊先のホテルについて予習する	20分
第6回 研修1日目：ホテル研修2	宿泊先のホテルについて予習する	20分
第7回 研修2日目：テーマパーク研修	テーマパークについて予習する	20分
第8回 研修2日目：テーマパーク研修	テーマパークについて予習する	20分
第9回 研修2日目：グループ研修	旅行先について予習する	20分
第10回 研修2日目：グループ研修	旅行先について予習する	20分
第11回 研修2日目：グループ研修	旅行先について予習する	20分
第12回 研修3日目：添乗研修	添乗業務について予習する	20分
第13回 研修3日目：添乗研修	添乗業務について予習する	20分
第14回 事後研修1：国内旅行研修の報告会	報告会の準備をする	20分
第15回 事後研修2：ルーブリックを用いて担当教員と個人面談を実施	面談の準備をする	20分

事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め学則第17条の2で規定された学修時間が必要である。
成績評価の方法・基準
定期試験は、実施しない。その他の評価配分は、以下のとおりである。 プレゼン作成へのアクティビティ40%、研修報告会 40%、ルーブリック20%で評価する。
課題に対してのフィードバック
事前研修、事後研修それぞれルーブリックを用いて評価を返却。
教科書・参考書
教科書：資料を配付 参考書：「国内観光地理サブノート」 ※毎回の授業で使用する